

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	262002	事業期間	平成 26 年度～平成 30 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
毒性学の発展に寄与する迅速かつ有用な国際情報発信への取組		一般社団法人 日本毒性学会	理事長 永沼 章
学術刊行物の名称			(略称)
The Journal of Toxicological Sciences			JTS

【平成 28 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>平成 26 年のインパクトファクター (IF) は、平成 25 年よりも低下しているが、本事業の目標である The Journal of Toxicological Sciences (JTS) の採用から掲載までの期間を、平均 69 日から現在 55 日と 14 日間短縮している点、化学物質が示す毒性に関するオープンアクセスジャーナル、Fundamental Toxicological Sciences (FTS) を平成 26 年度より発行し、平成 27 年度から J-STAGE へ収録した点は評価できる。</p> <p>最終年における IF の目標値を実現するために、一層の努力を期待する。</p>	